実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和８年度
助成団体	一般社団法人全日本空手道連盟和道会
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）
事業名	第 60 回和道会全国空手道競技大会
助成金額	2,520,000 円

スポーツ団体スポーツ活動助成を受け、一般社団法人全日本空手道連盟和道会が開催する「第 60 回和道会全国空手道競技大会」の実施状況について調査を行いました。

本大会は和道会最大の大会であるとともに、昭和 30 年（1955 年）に渋谷公会堂で第 1 回大会が開催され、昭和 51 年（1976 年）の第 12 回以降、毎年日本武道館で行われている伝統の大会でもあります。今年第 60 回を迎えた本大会は、8 月 29 日に浦安市運動公園総合体育館、翌 30 日に日本武道館と、2 日間にわたって盛大に行われ、全国 198 支部からのべ 1,200 名が参加しました。

■助成の意義

物価上昇の影響で年々経費がかさんできていたため、浦安市運動公園総合体育館では競技用フロアマット敷設等を団体自ら行うなど、これまで様々なコスト削減に努めてきたそうです。しかしながら、日本武道館では大会前日の夜間まで他のイベントが組まれていることが少なくなく、翌朝の競技開始までの限られた時間で会場設営を行うには請負業者に依頼する必要があるそうで、削減が困難な必要経費に対して助成金を活用することにより、日本武道館での開催を継続でき、大会の質や選手のモチベーションを保つことができたとのことです。

また、本大会は全国から選手が集まる大会であり、出場にあたって移動費等の負担も発生することから、参加料の値上げを避けたかったそうですが、助成を受けることで参加料を据え置くことができ、参加者の増加にもつながったとのことです。

■事業効果を高めるための取り組み

本大会に向けて大会実行委員会が組織されており、当該組織において日頃から不明点や改善点を洗い出すことで円滑な運営ができているほか、大会回数を重ねるごとにより良い大会となるよう取り組むことができているそうです。

また、メールで参加申込を受け付ける形に改善し、手続きに係る参加者と事務局双方の負担を軽減できたほか、大会の結果速報を掲載する専用ページの URL 及び QR コードを大会パンフレットに掲載することで、大会情報を迅速に共有することが可能になったそうです。

■所感

本大会は、型・組手それぞれ細かく階級分けされていましたが、調査当日は、9 面のコートを使

用しスムーズに競技が進められており、これまで継続して大会を運営してきた団体の努力と経験の積み重ねを感じました。

また、本大会は和道会の各支部の選手たちにとって最大の目標となっており、日本武道館で競技を行うことが選手たちや団体としての誇りとなっているそうです。

当日は選手のほかに観客が 1,500 名ほど来場していたそうですが、競技中は静寂に包まれ、その空気を斬り裂くような選手たちの一瞬の技や声が際立っており、緊張感や選手のキレのある動きに強く惹き込まれました。

和道会の空手家にとって特別な場所である「武道の殿堂」日本武道館でこれからも伝統の大会が続けられていくことを願うとともに、本大会がさらなる空手道の発展の一助となることを期待しています。

（令和 8 年 8 月 30 日往査）

（写真）第 60 回和道会全国空手道競技大会の様子



